

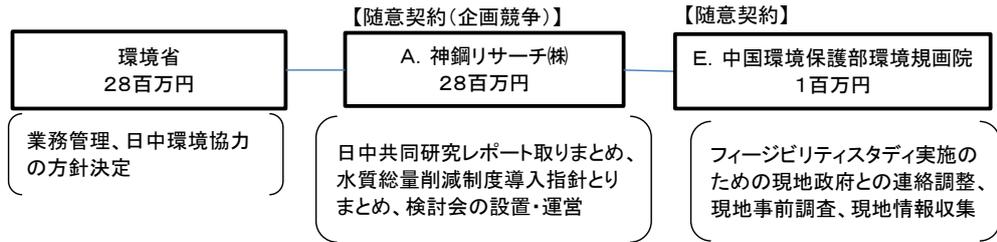
平成23年政事業レビューシート

(環境省)

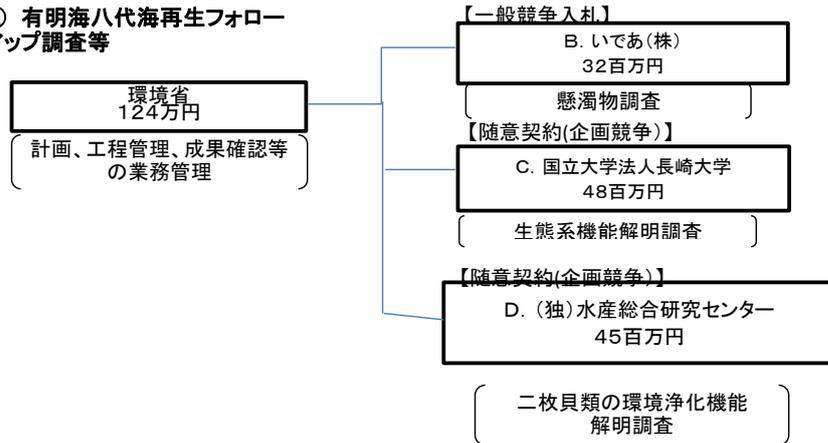
事業名	閉鎖性海域環境保全推進等調査費（有明海・八代海等総合調査評価委員会経費を含む）		担当部局庁	水・大気環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	①H19-H23、②-1 H20、②-2 H19、②-3 H19、②-4 H15		担当課室	閉鎖性海域対策室		閉鎖性海域対策室長 富坂 隆史		
会計区分	一般会計		施策名	3-3 水環境の保全（海洋環境の保全を含む）				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	②有明海及び八代海等を再生するための特別措置に関する法律第18条、同法第24条		関係する計画、通知等	①クリーンアジアイニシアティブ 水質総量削減制度				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	①水質総量削減制度実施の経験を東アジア諸国に対して効果的に提供し、当該地域における富栄養化問題の改善に資する。 ②有明海・八代海総合調査評価委員会(平成23年法改正により「有明海・八代海等総合調査評価委員会」に改称。以後、評価委員会という。)に報告された解決すべき諸問題について調査し、当該海域の環境保全及び改善を図る。また、有明海及び八代海等を再生するための法律に基づく評価委員会の運営を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①窒素・リンの水質総量削減に係る日中共同研究により、モデル地域検討と水質総量削減実施方法案を盛り込んだ日中共同研究レポートを作成した。 ②-1 評価委員会で報告された課題事項のうち生態系のメカニズムの解明と二枚貝類を環境浄化、底質の泥化、底質の変化について状況の把握、機構解明のための調査、調査研究情報を収集、解析による底層環境評価を実施した。 -2 評価委員会の運営。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	209	230	172	157	128	
		補正予算	-10	0	0			
		繰越し等	0	0	0			
		計	199	230	172	157	128	
	執行額	209	216	152				
	執行率(%)	105.0%	93.9%	88.4%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	①日中共同研究によるモデル地域検討と水質総量削減実施方法案の作成、水質総量削減制度導入指針の作成		成果実績	段階	導入指針素案作成	中国導入の課題検討、モデル地域選定	モデル地域での検討 中国5カ年計画への反映	導入指針(英語版)作成、情報発信
			達成度	%	50	70	90	
	②有明海及び八代海等を再生するための海域環境悪化原因の把握、改善方策の提示等が成果目標であり、定量的評価になじまない。また、着実に調査結果が得られているものの、調査結果を有明海等の再生と結びつけて総合的に評価を実施する評価委員会での評価がなされていない状況。		成果実績	段階				
		達成度	%					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	①東アジア諸国関係者への水質総量削減制度に関わるキャパシティビルディング・検討会の開催		活動実績 (当初見込み)	回	1 (1)	8 (8)	8 (8)	— (2)
	②調査研究等課題数		活動実績 (当初見込み)	課題	20 (20)	20 (20)	11 (11)	— —
単位当たりコスト	①58百万円(共同研究1件あたり) ②7百万円(H20-22 調査研究等1課題当たり)		算出根拠	①日中共同研究を実施したH21年度、H22年度の合計。(中国との共同研究の結果を他地域に活かす導入指針検討の経費を含む) ②調査研究等課題数 / 有八請負契約額				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	委員手当	2.8	2.8					
	諸謝金	0.1	0.1					
	委員等旅費	4.2	4.2					
	環境保全調査費	149.5	121.1	人件費や検討会の開催頻度、調査の手法を精査することにより要求額を減額した。				
	計	156.6	128.2					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	②評価委員会の報告に基づき、有明海・八代海再生に向け残された調査課題を着実かつ効果的に実施するための調査となっている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	②有明海海域の特殊性(広大な干潟、独特の生態系、過去の調査データが乏しい等)を踏まえた上で、確実に成果が得られるよう配慮する必要がある。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	△	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	①の水質総量削減制度導入指針を効果的に活用していくことが必要 ②調査の成果は、特措法に基づく有明海・八代海等総合調査評価委員会において総合的な評価がなされるべきものである。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	△	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>①については、東アジア諸国のみならず我が国においても利益が確保されるように、水質総量削減制度導入指針を活用し、我が国のモニタリング・排水処理技術と人材育成とをパッケージ化した海外展開が必要。</p> <p>②有明海・八代海等の再生に向け、評価委員会報告において提言された課題は、着実に解明されてきており、引き続き、課題解明のための調査実施は必要。調査成果の評価委員会による評価が課題。また、H23法改正に伴う対象地域拡大等についても適切に対応していく必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善	<p>シャトネラ由来の赤潮被害の対策は重要であるが、過大な予算要求とならぬよう、事業内容、調査内容の精査をし、予算の削減を図る。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>人件費や検討会の開催頻度、調査の手法を精査することにより要求額を減額した。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>H22年度の行政事業レビューにおける予算監視・効率化チームの所見 ①「東アジア諸国に対する協力事業においては、共同研究等の成果を踏まえたまとめの段階に事業を進め、真に必要な内容に限定した予算措置とすべき。」</p>			

① 東アジア諸国における水質総量規制制度支援事業



② 有明海八代海再生フォローアップ調査等



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単位:
百万円)

A. 神鋼リサーチ(株)			E. 中国環境保護部環境規画院		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	東アジア諸国における水質総量規制制度支援事業	28	雑役務費	現地事前調査の企画及び実施のための事務、現地情報収集等	1
計		28	計		1
B. いであ株式会社			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	懸濁物調査	32			
計		32	計		0
C. 国立大学法人長崎大学			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	生態系機能解明調査	48			
計		48	計		0
D. 独立行政法人水産総合研究センター			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	二枚貝類の環境浄化機能解明調査	45			
計		45	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	神鋼リサーチ(株)	日中共同研究レポート取りまとめ、検討会の設置・運営	28	随意契約	100

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	いであ(株)	懸濁物調査	32	1	99

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人長崎大学	生態系機能解明調査	48	随意契約	100

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)水産総合研究センター	二枚貝類の環境浄化機能解明調査	45	随意契約	99

E

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	中国環境保護部環境規画	現地事前調査、現地情報収集等	1	随意契約	不明